

調査結果の概要

本調査において新規就農者とは、次のいずれかに該当する者をいう。

- ①新規自営農業就農者： 個人経営体の世帯員で、調査期日前1年間の生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者
- ②新規雇用就農者： 調査期日前1年間に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人技能実習生及び特定技能で受け入れた外国人並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）
- ③新規参入者： 土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、調査期日前1年間に新たに農業経営を開始（「農業経営を開始」とは、「農業経営体」の定義に該当する事業を開始することをいう。）した経営の責任者及び共同経営者

なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者

1 新規就農者数

令和5年（令和5年2月1日～6年1月31日）の新規就農者は4万3,460人で前年に比べ5.2%減少し、このうち49歳以下は1万5,890人で、5.8%減少した。

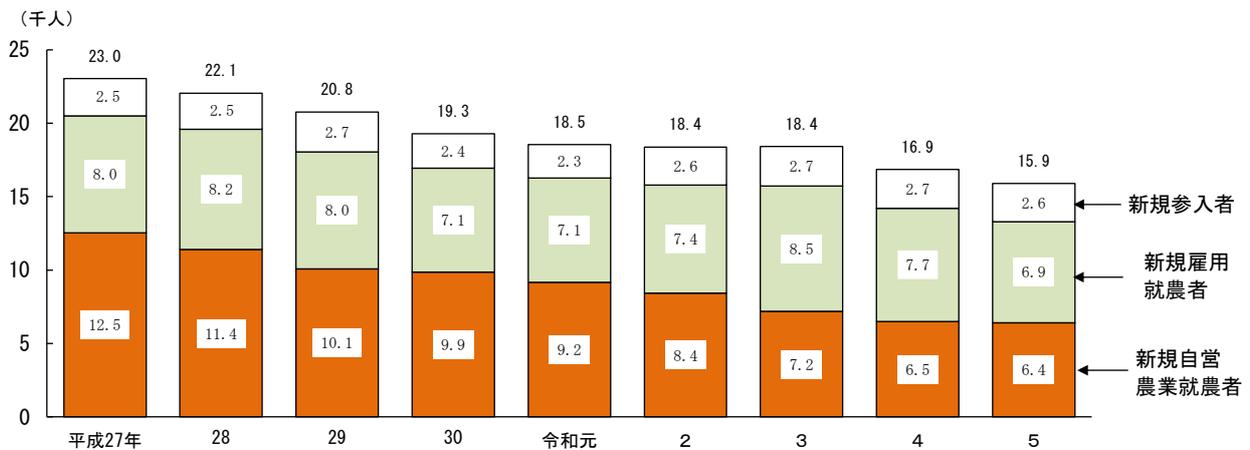
就農形態別にみると、新規自営農業就農者は3万330人、新規雇用就農者は9,300人、新規参入者は3,830人となっている。

表1 新規就農者数の推移（就農形態別）

単位：人

区分	計		就農形態別					
			新規自営農業就農者		新規雇用就農者		新規参入者	
		49歳以下		49歳以下		49歳以下		49歳以下
平成27年	65,030	23,030	51,020	12,530	10,430	7,980	3,570	2,520
28	60,150	22,050	46,040	11,410	10,680	8,170	3,440	2,470
29	55,670	20,760	41,520	10,090	10,520	7,960	3,640	2,710
30	55,810	19,290	42,750	9,870	9,820	7,060	3,240	2,360
令和元	55,870	18,540	42,740	9,180	9,940	7,090	3,200	2,270
2	53,740	18,380	40,100	8,440	10,050	7,360	3,580	2,580
3	52,290	18,420	36,890	7,190	11,570	8,540	3,830	2,690
4	45,840	16,870	31,400	6,500	10,570	7,710	3,870	2,650
5	43,460	15,890	30,330	6,420	9,300	6,880	3,830	2,590

図1 49歳以下の新規就農者数の推移（就農形態別）



注：10人単位又は千人単位で表記し、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある（以下、4まで同じ。）。

新規自営農業就農者数及び新規雇用就農者数の推定値については、令和6年能登半島地震の影響により調査を実施できなかった石川県の7市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町及び能登町）以外の調査対象者の調査結果から算出したものである。

新規参入者数については、石川県の6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町及び能登町）を除いて集計したものである。

2 新規自営農業就農者数

新規自営農業就農者は3万330人、このうち49歳以下は6,420人で、前年に比べそれぞれ3.4%、1.2%減少した。

図2 年齢別新規自営農業就農者数

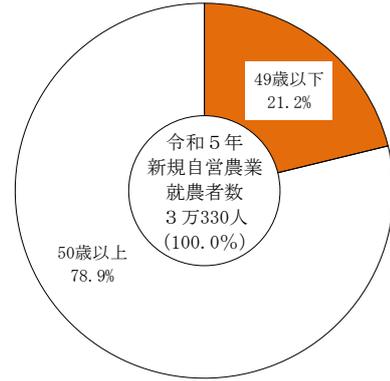


表2 新規自営農業就農者数

単位：人

区分	計	49歳以下	男女別	
			男	女
令和4年	31,400	6,500	22,570	8,830
5	30,330	6,420	21,630	8,700
増減率(%)	△ 3.4	△ 1.2	△ 4.2	△ 1.5
構成比(%)				
令和4年	100.0	20.7	71.9	28.1
5	100.0	21.2	71.3	28.7

注：表中の「△」は減少したものを示す（以下、4まで同じ。）。

3 新規雇用就農者数

新規雇用就農者は9,300人、このうち49歳以下は6,880人で、前年に比べそれぞれ12.0%、10.8%減少した。

図3 年齢別新規雇用就農者数

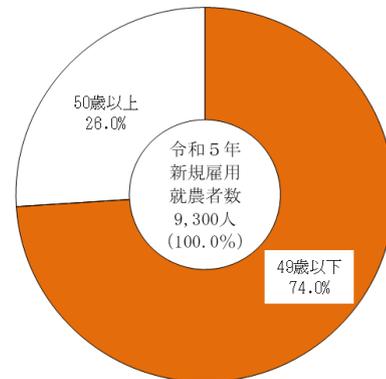


表3 新規雇用就農者数

単位：人

区分	計	49歳以下	男女別	
			男	女
令和4年	10,570	7,710	6,910	3,670
5	9,300	6,880	6,090	3,210
増減率(%)	△ 12.0	△ 10.8	△ 11.9	△ 12.5
構成比(%)				
令和4年	100.0	72.9	65.4	34.7
5	100.0	74.0	65.5	34.5

4 新規参入者数

新規参入者は3,830人、このうち49歳以下は2,590人で、前年に比べそれぞれ1.0%、2.3%減少した。

新規参入した部門別にみると、露地野菜作が1,300人と最も多く、次いで果樹作が820人、施設野菜作が620人となっている。

図4 年齢別新規参入者数

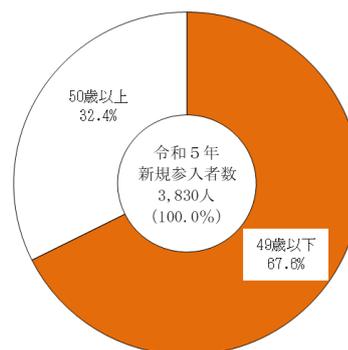


表4 経営の責任者・共同経営者別、男女別新規参入者数

単位：人

区分	計	経営の責任者・共同経営者別			男女別	
		49歳以下	経営の責任者	共同経営者	男	女
令和4年	3,870	2,650	3,470	400	3,150	720
5	3,830	2,590	3,490	340	3,050	770
増減率(%)	△ 1.0	△ 2.3	0.6	△ 15.0	△ 3.2	6.9
構成比(%)						
令和4年	100.0	68.5	89.7	10.3	81.4	18.6
5	100.0	67.6	91.1	8.9	79.6	20.1

注：令和6年能登半島地震の影響により調査を実施していない石川県の6市町の新規参入者数については、令和5年の調査結果に含まれないため、前年値との比較には留意が必要である（以下、表5まで同じ。）。

表5 部門別新規参入者数

単位：人

区分	稲作	畑作	露地野菜作	施設野菜作	果樹作	花き作	その他の作物
令和4年	530	220	1,370	640	700	130	140
5	450	300	1,300	620	820	110	110
増減率(%)	△ 15.1	36.4	△ 5.1	△ 3.1	17.1	△ 15.4	△ 21.4
構成比(%)							
令和4年	13.7	5.7	35.4	16.5	18.1	3.4	3.6
5	11.7	7.8	33.9	16.2	21.4	2.9	2.9

区分	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他
令和4年	30	90	0	10	20
5	30	60	-	10	20
増減率(%)	0.0	△ 33.3	nc	0.0	0.0
構成比(%)					
令和4年	0.8	2.3	0.0	0.3	0.5
5	0.8	1.6	-	0.3	0.5

- 注：1 「畑作」とは、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物をいう。
 2 「花き作」とは、露地花き、施設花き、花木をいう。
 3 「肉用牛」とは、繁殖牛、肥育牛をいう。
 4 「養鶏」とは、ブロイラー、採卵鶏をいう。
 5 「その他」とは、養蚕、その他の畜産をいう。
 6 表中の「-」は事実のないものをいう。
 7 表中の「0」は5人未満のものをいう。
 8 表中の「nc」は計算不能をいう。